

人は環境をつくり  
環境が人をつくる  
キーワードは  
MOH (もおっ)

**M** → **も** **もったいない**  
循環  
他の生命を奪って得たものを使わ  
せて頂く

**O** → **お** **おかげさま**  
共生  
人は一人では生きられない、環境  
によって生かされている

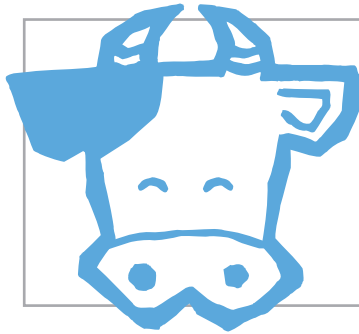
**H** → **ほ** **ほどほどに**  
抑制  
欲はほどほどに、良き環境を作り上  
げるために

も う

# M・O・H

# 通信

6号  
2005  
April



「M・O・H」のマーク = 牛

牛は環境の象徴ともいえます。牛糞はメタンガスになり、肥料にもなります。大地を作り、食物を育て、生物を養います。私たちは命の源ともいえる、牛を「MOH」のマークとし、循環型社会の象徴とします



高島市新旭の菜の花畑

### 表紙の言葉

Mの「もったいない」といい、Oの「おかげさま」という言葉は、日本人独自の内観、内面的に豊かな感情からでてきた言葉だろうと思っています。なぜなら匹敵する外国語が見当たらないからです。もし日本人がこの言葉を忘れたら、国際的な根無し草になってしまうでしょう。

眞念寺住職 **小林 光麿**

## 目次

### <特集> “共生” を考える

- 「真の持続型社会とは」(1)  
内藤 正明 ..... 1
- 「経済至上主義を超えて」(2)  
対談 内藤正明&森建司 ..... 2~5
- 「商い」の基本から学ぶ自分の生き方(3)  
八幡商業高校社会人授業 ..... 6~8
- 「世間とは自分の投影である」(4)  
小林 光麿 ..... 9
- 「もったいない」が世界の共通語に  
会員からのお便り ..... 10
- 「これからの希望のビジネス戦略」(5)  
金子 勝 ..... 11~12
- 「第二創業」で生き残りにかける企業家たち(6)  
中小企業家同友会滋賀大会にて ..... 13~14
- 「循環型社会を支える基本理念」循環型社会入門③  
森 建司 ..... 15~16
- 講演日記 ..... 16
- 「小学」を学ぼう⑤  
井上 昌幸 ..... 17~18
- 本の紹介 ..... 18
- 東山さんのこと  
今関 信子 ..... 19~20
- あいとうエコプラザに「家訓」  
フォトニュース ..... 20
- 「持続可能」な生活とは何か 世代間倫理②  
本田 祐志 ..... 21~22
- むだいずむ(4コマ漫画)  
しみず やすお ..... 22

# 共生を考える(1) 真の持続可能社会とは

内藤 正明

## 1. 地球環境議論の前提を明らかに

いま「持続可能社会」という言葉がしきりに使われるが、その解釈は混乱している。そもそもは、地球環境の異変と資源の枯渇という、出と入りの両面で人類の持続的生存が危惧され始め、それを克服し世界が生き延びていけるような社会を「持続可能社会」と言う。これを実現する方策には大きく、「技術の発展による」立場と、「いまの社会を大きく変えることによる」とする二つの立場がある。ここでは、その相違がどこから来て、その結果として将来の社会像とそこへのシナリオがどのように違うかを探ってみよう。

## 2. 目指す目標

まず出発点はいまの地球の状況はどう捉えるかである。最右翼が「いまのアメリカで、温暖化などは無い(ことにしよう)」、という立場で、経済発展を重視することで終始一貫している。我が国では、「地球環境問題はこのままでは危ない」と誰もが口にするが、それは建前または感覚的な理解に止まっている。

そこで、具体的な数字として、石油消費(または「酸化炭素発生」の量として削減すべき目標値を明らかにするだけでも、その認識の差が分かる。まず、京都議定書の「酸化炭素マイナス6%」といった数字を二応の目安と信じて、これならいまの延長の技術的な努力でできると考えてきたのが「現状改善派」である。しかしその旗頭で

ある経産省は昨年末に、日本の京都議定書達成は不可能だと発表した。しかもその後には、2050年には「酸化炭素を75%削減する社会を提案しているが、その達成手段はこれまでの内容と違ってはいない。この不思議さについては後で触れる。

一方の「社会変革派」は、マイナス6%が当面の政治的な意味以上のものはなく、本来は世界全体としてマイナス50%ぐらいの大きな削減が必要になると主張してきた。今回のCOP9(気候変動枠組条約第9回締約国会議)でヨーロッパ諸国が30%から80%までの削減目標を表明したのは、その立場と考えていいだろう。もしこの

ぐらいの目標を置けば、単に技術ではなくて社会の姿を大きく変えるべきことは明らかである。

## 3. わが国のこれまでの方針

日本の国や産業界は米国と共に、「技術派」の筆頭である。今年になって突然、2050年の「酸化炭素排出量を現状の4分の1にする」という目標を掲げたが、その達成手段としては「原子力、炭素隔離、再生可能エネルギー、飛躍的な省エネ技術」としている。水素推進派は、使用段階での環境負荷ゼロだけを主張し、そもそも水素製造に必要なエネルギーにはあえて言及しない。これは、炭素隔離などその他についても大同小異で、全体ではどこかで必ず大きな石油消費があるはずである。それなのにその種の主張がされるのは、利益主体がその部分だけを取り上げ、全体をあえて見ないか気がつかないからである。

## 4. 真の原因を知ること

結局のところ、いまのような環境問題が生じた原因をどう考えるかである。これについても日本では、「この大量生産・大量消費にある」という言葉がとりあえず枕詞として使われる。しかし、ではどの製品をどれぐらい削減すべきか、ということは誰も言わない。我が国産業界にとって大量生産を改めるのがいかに困難かである。その代わり、環境にやさしい商品が大量生産され、結果的に総量としての地球負荷は減るところが増大してきた。

これらのことから、技術改良だけでは問題の克服はありえず、結局これまでの「無限世界観」の下に、人がその限りなき欲望を充足することが正しいとする価値観から脱却し、地球が有限という世界観の下で、節度ある生き方に転換することが不可欠であることが分かる。

## 5. 持続可能社会の模索

社会変革の必要性を認識して、人類持続の新たな社会を構築する試みが、すでに世界各地で見られる。それらの試みは、それぞれが原点では少しずつ違っているが、出来あがった姿はかなり類似している。その理由は、それらが「ハーマン・デーリーの3原則」、「アワニーの法則」など、世界を有数の閉鎖系であるとした、熱力学と生態学の原理に立ち、その上で人が真に豊かに生きるために何が必要かを考えるところから導かれたものだからである。

「世界エコビレッジネットワーク」は、

世界中の試みを繋いだネットワークであり、その環は年々拡がりつつある。それに対し、日本にはこれまでその種の事例はなかった。しかし我が国でもようやく、都市工業社会の陰で社会崩壊ともいえるべき状況に追い詰められた地方都市や村落を中心に、エコビレッジと呼べるような自然共生型社会に向けて、その地域再生を賭けて動き始めた。それが全国に拡大していくことによって、我が国が持続可能社会に転換する日の一日も早いことを期待したい。



内藤 正明

● ないつつ まさあき

〈経歴〉1939年大阪府生まれ。1962年京都大学工学部卒業。1969年京都大学工学博士。1999年京都大学工学研究科教授。2002年京都大学大学院地球環境学学長(兼任)。  
〈現職〉(NPO)循環共生社会システム研究所代表理事、佛教大学社会学部教授(専門)環境システム学  
〈最近の関心〉循環システム、持続可能社会の概念の確立と仕組みの提案  
〈主な仕事〉NPO研究所によって循環共生社会または自然共生型社会の実現に向けた研究と実践活動、および市民技術の形成

共生を考える(2) —〈対談 内藤正明&森建司〉

# 経済至上主義を超えて

対談人／内藤 正明 循環共生社会システム研究所 代表  
森 建司 循環型社会システム研究所 代表

■特定非営利活動法人 循環共生社会システム研究所 (KIESS) 京都市左京区新丸太町42番地  
■2005年2月吉日



- 「足元から創ろう 循環共生社会  
～つなげよう、ものの環・ひとの和～」  
＝循環共生社会システム研究所
- 「人は環境をつくり 環境が人をつくる  
～もったいない(循環)・おかげさま(共生)  
・ほどほどに(抑制)～」  
＝循環型社会システム研究所

環境の危機や資源の枯渇を乗り越えて、地球市民が存続するための「循環可能な社会」を模索する動きが世界中で始まっています。循環共生社会システム研究所は数年来、現場に即した検討を重ね、自然の力による「もの環」とそれを支える「人の和」が創る「循環共生社会」を提唱しています。次世代になくはならない、「共生」の重要性について、内藤正明代表と循環型社会システム研究所の森建司代表が京都の町屋を参加型の施工とそこにあるものを活用してよみがえらせたKIESS事務所にて対談しました。

## 生活者が社会をリードする

森 本日はお忙しい中、お時間を頂

戴し恐縮です。先日から内藤先生の循環型社会に対するお話をお聞きしてこれは、共通性があるなあと感じいった次第です……。

内藤 全く、森さんとお話していると、私がかもう一人いるような錯覚におちりました。(笑)

森 そこで今回は、どうすれば社会は変わるかということについて意見交換ができればと、よろしくお願ひします。

内藤 こちらこそ、楽しみです。

森 私は現在、循環型社会システム研究所を会社内に作りまして、NPO支援をはじめ、循環型社会構築に向けた環境倫理を考えるMOH通信を発行し、MOHの会で講演をしております。循環型社会に向けた事業のコンサルタントもしております。活動していく中で思いますのは、収縮する経済社会の中で、ライフスタイルを1970年頃に戻す必要があると実感します。ところが企業はまだ環境対応型と称する新しい工業製品を大量に生産し、大量に売ることでも更なる成長をしようとしている。もう、世直ししか手はないのかと思ひ始めました。そのためには、生活者が声を出すべきだと。「いやなものを買いません！納得できるお店でしか買物はしません！」まさに生活者が世界を変える時代を迎えたなど。

内藤 そうですよ。京都の碁盤の目のような交通路は古からの歴史ある町並みです。そして京都議定書の発信地でもある。CO<sub>2</sub>削減を実現するためにも京都は車が要らない町にしようと思ひ始めています。

## 共生を考える(2) —〈対談 内藤正明&amp;森建司〉

節約経済で  
スローな社会に

森 私は中小企業の経営をしておりまして、現在は会長職ですが、これらの循環型社会の中で中小企業の生きる道を今、見つけねばならない。地上資源を有効に利用することや、買い物半減経済でいかに生き残るか、理想と現実の合意点を探るべきだと。

内藤 正解ですね。私は産業界には縁が薄いのですが、脱企業社会の必要性は確信しています。大企業が日本の社会を作る時代は終わった。株主利益を求めても、還元される現実には希薄でしょうね。利益追求では幸福になれませんよ。

森 私は人と人がもつと濃密にかわり合った中で経済活動があるべきだと思つたのです。生活をするすべての人、生活者が幸福になるための運動をしなきゃならんと提唱しております。

内藤 私たちも、みんなでやろうと言うのがモットーです。スローに行こ

う。この家も昭和15年に棟上げされた私と同じ年の家です。ちなみに64歳ですが、当時の棟梁の名前が屋根裏に残されています。仁王門界隈では餅まきをした最後の家です。10年あまり空き家でしたが内部構造は頑強でした。

滋賀県の庭師さんに手伝ってもらい、お世話になりました。素人でできるところは残してくれて「あんたらがしたほうがええやろう」と氣遣つてくれました。メンバーの手作りなのできれいな普請ではありませんが「お金になる仕事よりやりがいがある」とみんなが集まってくれました。

森 先生にお願いすれば、中味の濃い活動ができそうです。

内藤 私は迎合をしないので…。革命的になるんです。私が環境庁の研究機関にいるとき、現状の国の体制では環境改善はありえない。だから「何もしないで下さい」と「お金があるのなら、地方に流してください」と申しあげたら、およびがからなくなつた。(笑)

森 それは頼もしい。そういう仲間作りが大切だと思つたのですよ。

内藤 大学の学生を含め多様な人たちが私のところに来ますので、ぜひ…。これからは、節約経済になるのを目に見えていますよ。使い捨てて社会から、助け合い社会になるでしょ

う。国は金が出せなくなる。そうするとお互いに助け合い、自然の恵みをいただく生活になる。コンビニで生活の糧を得ているような暮らし方を続けていると、人に感謝したり、自然の偉大さに触れたりできませんものね。

## ネットワークづくりが必須

森 これからの社会で地方の振興は中小企業でやらなければ、大量シテムではできませんからね。

内藤 工学の技術の面から言っても、大企業を作る儲かる技術でありながら、環境に良い技術は大変むづかしいです。どうしてもそうなる。そして誰がやるんだとなったときに、市民が市民のためにやるしかない。私たちが幸福になるための技術はそれしかない。そんな運動をやっております。みんなでもやろうというのが目標で、何年かかってもやり続けようよと…。

森 僕らのエコ村運動も施主と棟梁と職人さんとが後世に残る家造りをしていっています。

内藤 それが一般的に言う、高品質長寿命といえますか、これからはそれしかないですね。それで経済が落ち込むことはないわけです。私は国立機関での経験が長かったからわかるんですが、体制がそのままいくんだつたら、世のためにはな



らない。だから訣別しました。この国の体制の中では環境施策は基本的にはむづかしいと思つたんです。免罪符に使われるんじゃないかと…。

森 なかなかそのような政党がないですから

内藤 緑の党が全滅しましたが、あれでは日本はまだまだだなど。

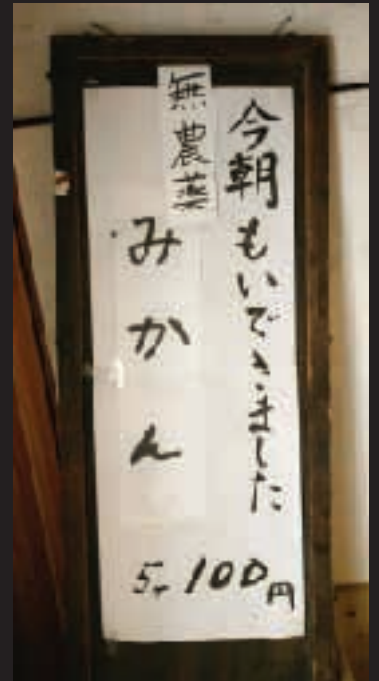
森 今の犯罪の多い社会は道徳が無くなつていますよ。

内藤 いろんな事がね。経済の余波ですからね。間違いなく節約社会になるから、そんなに物を使い捨てにすることは無くなる。そうしたら人は助け合うしか無いわけです。金さえ出したら自分で生きて行けるというのは、人や自然に感謝するということとはあり得ない。私たちはボランティアでやっていますが、そのようなネットワークができてつあります。伝統の街が、循環共生社会づくりとしてどうなるのかと、言うことで、7年間ずっとやってきた組織です。

# KIESS事務所

循環共生社会システム研究所

参加型の施工と  
そこにあるものを活用して  
京都の町屋をよみがえらせた…



みかんも自家栽培、土づくりが大切とか

質素で上品な玄関。あり合わせの部材とは思えません



「この家には、この時計でしょ」と会員が持ってきて下さいました。ポーンポーン



「この土かべのざらつきが良いのよねえ」内藤先生お気に入りの壁。可愛いしつらえも手作り

## 共生を考える(2) —〈対談 内藤正明&amp;森建司〉

自動車の生産増加で  
環境負荷を下げる？

森 以前に滋賀の経済同友会で代表幹事をしていました、その当時から循環型社会における企業経営というテーマで5回の講演会をしました。でも大企業が言うのはいいけど、中小企業にそんな力があるのかと言われました。

内藤 大量生産大量消費でしか成り立たない産業はこれから存在し得ないという覚悟はしておかないと。

森 日経新聞に「産業界のためにトヨタは自動車生産で総力をあげると、それで環境負荷を下げると」トーンでもない話でね。車を減らす、生産を減らすならわかりますが、地球環境大賞を受賞しているのが信じられない。

内藤 言わずもがなでね、今の日本でそれを言うのはレシーションが大きいです。

森 国も自治体も税収不足が大きい。

内藤 だからこういう経済のしくみだったら、中小企業はもつと大きくなるよとか、庶民は豊かになるよというのを見せてからやらないと。今の体制をつぶしてから何もなかったよはだめ、早くやめさせるためにも新しい社会モデル、エコ村などを体系だてる必要はあります。

森 デンマークのように抑制された経済活動をやりつつ。それでも先端企業もあるんですよ。

内藤 あの辺は、番新しい社会のモデルで、日本の企業人や政府は生産性で違いを言うときに、燃費では日本の

方がいいとか、データを断片的に言いますよ。でも一台あたりの車で、日本の車の燃費が良くてもむこうが100万台作っているときに、こちらが300万台作っていたらCO<sub>2</sub>トータル排出量はダメなんです。トータル排出量は明らかに日本の方が多いです。1台あたりというのは主張にはならない。そういうおかしなデータを持ち出して反論しています。

消費者と有権者の  
権限を活かそう

森 私は包装材を取扱っていないながら、循環型社会を見ようと、包装材を減らす運動を平和堂さんたちとやり始めた。ところが包装はますます増えていく。消費者の考え方はですね。お総菜や弁当など、結局成果上らず解散しました。平和堂さんには悪いけど、平和堂さんで買い物をするのを消費者が考えないと経済は革命的には変わらない。だからそうなったときにどうするか、追い込まれる前に考えないと手おくれになる。買いたい物が世界を変えるというので、武器を持つて戦う代わりに、消費者が財布のひもを握って戦えばこれはこわいですよ。

内藤 消費者は神様ですからね。消費者と有権者の二つの権限を活かせば、世の中は変わりますよ。

森 私は反経済を唱えているわけではないんです。中小企業は一人一人のお客様から声がかかる、市民の味方。爆発的なヒットはなくても生活ができる、生活ができればもつとほかの志

のために人が生きる。

内藤 人と人は顔の見えるところでつながっていれば、暴利を取るようなことはしない。循環型社会のビジネスという国のプロジェクトがあります。いろんな動きが世界中である。レンタルとかリースとか、もつと幅の広い動きがあります。

森 環境ビジネスというのは行商に歩いて物売って歩くようなのが環境ビジネスで、先端産業ばかりではないですね。

中小企業が環境の  
リーディングカンパニーに  
なるチャンス

内藤 循環型社会のビジネス「もそろそろまとまります。私が、なぜM・O・H通信をいいかと思うか」というと、中小企業の会長さんがやっておられるというのがインパクトがあるんです。NPOや市民グループがやっているのはゴマンとある。あくまでも経済の社会と離れた所ではできない。

森 今のわが社の生き残る手段としてやっているんです。バイオマスとエタノールの研究もしています。この「M・O・H」の運動も会社にとってプラスになるかマイナスになるかわからないんですが、社会貢献だと社内でもまともっています。わが社も環境のリーディングカンパニーになりたいと思っています。だから今このような運動をやらないと。

内藤 このような動きを予測しているグループがあります。スウェーデンやデンマークなど、なぜヨーロッパが最近

画期的な動きがあるのかを調べています。

森 それはぜひ、M・O・H通信で紹介してください。実例の紹介をどんどんしていきたいので。私の余命は少ないですが、若い皆さんには未来があります。何かを残さないと…という想いが強くあります。

内藤 力を合わせれば、見えてきますよ。M・O・H通信は損得関係なしに、しばらく続けることが一番大切です。

森 内藤先生も琵琶湖・環境科学研究所のセンター長に就任されることですし、親しい間柄で二つよろしく。

内藤 こちらこそ、若手を育てるためにも、頑張りましょう。

共生を考える(3)——地域と共に生きる高校生に託す

## 「商い」の基本から学ぶ、自分の生き方

講師／森建司

授業内容／近江商人に学ぶこと

■2005年1月17日(月)

■滋賀県立八幡商業高校販売実習

■参加者15名



滋賀県立八幡商業高校で販売実習の社会人講師として、循環型社会システム研究所の森建司代表が招かれました。

商売の基本は「あほになる※(自分を抑えて相手の気持ちを引き出す)」。そして「辛抱・根性・気配り(逆境になっても堪える根性を養い、相手に気配りができる人間)」ができ、「かつくん・かつくん・すー・つき※(相手の言うことをうなずいて聞き、自分の主張は相手の気持ちを察しながら静かに伝え、毅然とした態度で応対し、優位に交渉する話法)」を身につけること。次世代の商売は地域に根付いた「商い」が復活する兆しが見えることなどを語りました。講義内容と受講生の感想をお聞きください。

### 講義内容

1. ビジネスは「商い」から始まる
2. 商いの基本は何か↓人のつながり、商品のつながり
3. 「あほになる※」「掃除をする」「後始末をする」「辛抱・根性・気配り」
4. かつくん・かつくん・すー・つき※

### 5. 接近話法ロールプレイング

20世紀の経済社会から21世紀の循環型社会へ↓大量生産・大量流通・大量消費・大量廃棄↓経済至上主義の限界↓品質・コスト・供給があなた任せ↓製造する社会から育てる社会へ↓知識(論理)から知恵(感性)の世界↓科学から倫理へ

6. 近江商人の知恵↓三方よし(売

り手よし・買い手よし・世間よし)↓もつたない・おかげさま・ほどほどに↓環境倫理「循環・共生・抑制」

7. 新規事業が目白押し↓意識、価値観が変わる新創業時代↓大量システムのウィークポイント↓人間主義奪還↓新産業・バイオ産業
8. 苦勞して見つける自分の生きる道

### 受講生の感想

#### 「克己と謙虚と感謝」

森さんの話は商業のことについてたくさん話してくださいと、とてもためになる話でした。その中でも、「あほになる」「掃除をする」「後始末をする」「辛抱・根性・気配り」という話は心に残りました。商業というともっと難しい事を言われると思っていたけれど、本当に基本的な事を言われたので、少しビックリしました。でも、話を聞いているうちに、それが本当に大事なんだという事が分かりました。今日話してもらった事をこれからも忘れないうようにしていきたいです。

山本美友紀(18)女

#### 「克己 おのれにかつー」

森先生が八商に来てくださいました。いくつのお話の中で一番心に残ったのが、「辛抱・根性・気配り」という言葉です。聞いた時にとっても良い言葉だなあと思いました。

尾崎加奈(18)女

#### 会長さんの話とその感想

会長さんの話をきいて、一番印象に

## 共生を考える(3)——地域と共に生きる高校生に託す

残っているのは、「辛抱、根性、気配り」ということです。どんな場面でも、どんな地位においても、辛抱は大切なことなんだなあと思いました。

「かつくん、かつくん、すー、きつ」つという言葉も、とても印象にのこりました。そうですね、そうですねと首をかくくん、かつくんしながらも、自分の意見をまげず、すうーつと言つて、商談をうまく行かすなど、すごい技だと思います。

近江商人の心得なども、とてもわかりやすかったです。

『大切にしている言葉「思いやり」』  
川村江里佳(18)女

## 『循環型社会』

昔は魚を食べるにしろ、全部を手く使い食べ切っていたが、今ではスーパーなどでブロック状になって売つていたりとさまざまになってきている。つまり無駄になっている部分が多くあるということ。この状況では環境、資源はいくらあつても追いつかないという所が一番、印象に残っています。三世代住宅という言葉があつた。その言葉も印象に残つた一つです。杉の木一本は住宅の木材として使えるように育つまでには100年かかる。だから杉の木を使って作った家は100年は住まないといけない。100年住めば杉の木もまた大きく成長していて資源は追いついていく。つまりこれが循環型社会の一例であるなど思いました。他には「あほになる」や「製造」社会から「育てる」社会へ」など心に残る言葉です。

『巡り合いと決断 物があふれてい

る世の中だから』  
北川直哉(18)男

## 『三方よし』

ほうきを持って寝るほどそうじを頑張る人がすごいと思った。「あほになる」ということはどういうことかを聞いて納得しました。掃除をするということは本当に大事だということがわかりました。

田井中政人(18)男

## 『何事もまず心からが大切だと思つた。』

「あほになる」ということをおつしやつていたのですが、一見変な風に聞こえるけれど、商業において大切だということを教わりました。あと、「辛抱、根性、気配り」という3つがとても大事だということを知り、なるほどなと思えました。話を聞いてよかつたと思えました。

春日尚也(18)男

## 『適当』

社会人になるにつれてのたくさん心がまえをたくさんきくことできて、とてもいい勉強になりました。今年の春には就職してしまうので今日話された、たくさんのお話を忘れず心にしまつておきたいです。

北岸智也(18)男

## 『いついつまでも夢を追い続ける』

「辛抱、根性、気配り」が大事だということがすごく身にしみました。社会人になるうえでこの3つは特に大事な物だと思えます。部活をしていて



八幡商業高校空撮

もこの3つはとても大事な物でした。部活の中で養えたことを社会に出て役立てたいです。人から好かれる人間になりたいです。

川嶋剛士(18)男

## 『命を大切にすることを伝える大事さ』

一番印象に残っているのは、森さんが子供の頃に飼っていたニワトリを食べたということ。それもどこも無駄にすることなく全部食べた事に命を大切にすることを感じた。

子供の頃に命の大切さを学び、今まで覚えていた森さんもスゴイと思つたけど、小さい頃からそれを教えていたお父さんもえらいと思つた。

福沢和喜(18)男

## 『人とのつながりは無限の可能性がある』

今日はすごく大切な話を聞けたようにおもう。近江商人の話は、前から授業とかで学ぶ機会が多かつたけど、今日のように実際に会長の人から話を聞いたのは初めてなので、すごくためになった。

商いの基本は何かという話をされた時に、人のつながりが大切だということをお話された。人と人とのつながりは、商いの世界だけでなく、生きていく限り、どんな時でも絶やしてはならないものだと思う。人とつながっている事は、すごく気を使うことだし、めんどくさいことだ。でも、そのつながりがあるからこそ私は今生きていら





るんだし、これからも楽しく毎日を過ごしていけるんだと思う。人とのふれ合いは、楽しさや安心感を得られる。私は、この人と人とのつながりをもっともっと広げていきたい。得られる。私は、この人と人とのつながりをもっともっと広げていきたい。人とふれ合い、つながり合うことにより、またそこから新しい出会いが生まれることがある。今の自分にはないものを得られることもある。人のつながりは無限だと思ふ。そんな中で、今、横に居て支えてくれている親や友達、先生に出会えたことは、本当にすごいことだし、感謝しなければならぬことだ。

商いの世界でも同じことだと思ふ。人と人とのつながりがあるからこそ、笑顔が生まれるんだと思う。人と人とのつながりがあるからこそ商いというのは成立する。だから、その出会いに感謝しなければならぬ。商売ができるのは、売る人がいて、買う人がいるからだ。私が生きていられるのは、私の周りにたくさんの方がいてくれるからだ。「お客様は神様」という言葉がある。これは、お客さんをとて大切に思い、感謝することから生まれた言葉だと思ふ。私も、人と人とのつながりを大切に、そのことを当たり前と思わずに感謝できる心を持って生きていきたい。

宇野早織(18)女

#### 『継続は力なり』

これまでは大量生産だったけれど、森建司さんが話されていたように、これからは、循環型社会になっていきま

す。どこかの国では車を買うだけで、すごく税金がかかると思いました。そうやって、少しでも車に乗る人が少なくなったら、少しでも、地球に優しい環境になると思います。そうやって、今まで人がたくさん汚してきた地球がきれいになっていったらいいなと思いました。もっともっと森さんのような会社が増えていったらいいと思いました。

小堀晶子(18)女

#### 『人に優しく』

「かつくん、かつくん、すー、きつ」  
はじめ聞いたとき、何のことか、わからなかった！ーけど、今は人の話を聞くときは、「かつくん、かつくん、すー、きつ」を心掛けようと思う。

谷口奈緒美(18)女

#### 『チーム一丸』

一番の印象は越後の商人と近江商人の考え方のちがいです。近江商人はとても尊敬できる商人だと思いました。

梅陰陽平(18)男

#### 『自分で終わりを決めない』

今回、森建司さんの話を聞いて、本当に多くの事を教わりました。話は少し難しく、少し理解できない所もありましたが、森さんが話したいことは分かりました。エコ村などを、作られるなんて全然知りませんでした。私のように知らない人がたくさんいると思う、でもエコ村ができたなら、今まで、何も知らなくて考えてなかった人も、地球の事や、現状を知る事がで

きる、そうしたら考える事もできる、そうになったら、今よりも地球にやさしい接し方ができるのではないかと思います。

あと、「三方良しの売り手良し」は、売り手の利益の事だと思っていたら、買い手にとつての売り手良しという意味だと初めて知り、今まで、何度も聞いたのに、分かっていなかった事を知りました。あと、おどろいたのは、車の会社が、作る量を減らす必要がある事です。利益も大事だけど、地球も大事だと考えてほしいと思います。

今回、働く事のきびしさや昔の事、今の事、そして、これからの事と、本当に多くの事を教えていただき、勉強になりました。

高橋朋子(18)女

●滋賀県立八幡商業高校Ⅱ所在地／滋賀県近江八幡市宇津呂町〇 ●生徒数／594名 ●教育方針 特色／近江商人の土官学校という歴史を持ち、逞しい産業人を育成する

## 共生を考える(4)

小林和尚が語る

## 「世間」とは自分の投影である

眞念寺住職  
小林 光麿

今日の私たちは「社会」という言葉と「世間」という言葉は同じように使っていますが、実は全く違う、ということからお話に入っていきます。

「社会」という言葉はいうまでもなく Society という近代ヨーロッパの思想の訳語で、「個人」の集合を「社会」といいます。それに対して、「世間」という言葉はもと仏教語であつて、サンスクリット語の Lok の訳です。直訳すれば「世」とか「よのなか」という意味ですが、中国へ入つて「世間」と翻訳されました。日本では、たとえば「世間に対して申し訳ない」「世間の笑い者になる」といわれるように、自己と関わる環境を「世間」といいます。その意味でも、西洋の近代思想から翻訳された「社会」とは大いに異なっているといわねばなりません。

「世間」とは自己と関わる環境であるということを、曾我量深(元大谷大学学長)は次のように述べています。

一体「世間」というものは自分の投影であつて、自分の醜い心の投影が「悪い世間」として現れてくる。自分の悪い影が世間に投影せられている。(中略)環境とか、周囲だの、外界だの、世間だの、そういうものは皆その根本を自分の主観にもつているものである。畢竟するに、自分の意志、それが世界(世間)を創造・つくりだすのである。自分の外界を創り上げるのである。外界という要するに自分の心の影である。自分の心の中に美しい世界が荘厳せられるならば、おのづから外界とか世間とかいうものも亦改善せられて来るといふことは、それは疑い得ないであらう。(「曾我量深選集」第五巻より)

これは仏教における環境(世間)を創造することを述べられたものです。

世間とは自己の投影であるということは、これを下駄の汚れと自己の足の裏の汚れというような「たとえ」で考えてみましょう。たとえば、内に自分の足の裏(自己)が汚れているならば、その汚れは、外に下駄(世間)の汚れとして映し出されます。結局は「自分の意志、それが世界(世間)を創造することになります。」「M・O・H通信」でいわれているように、人が環境をつくることになります。

そのためにはまず自己の意志を浄化しなければなりません。自己の意志を浄化すれば「おのづから外界とか世間とかいうものも亦改善せられて来る」ことになります。しかし自分の意志を浄化するには、まず自分の心が汚れていることを知らねば(自覚しなければ)なりません。どうしたら自分の心が汚れていることを知る(自覚する)ことができるのでしょうか。自分では自分の足の裏の汚れはわからないから、その汚れを写す鏡がなければなりません。その鏡が下駄の汚れ、つまり世間の汚れという意味になります。

それで、下駄の汚れによってひとたび自分の足の裏が汚れていることを知れば(自覚すれば)、自分の足の裏を奇麗にせずにはおれません。このようにして自分の足の裏を奇麗にして浄化すれば、その自己の投影が世間ですから、おのづから下駄、つまり世間を浄化してゆくことになります。核心は自己を知る(自覚する)ということにあります。

しかし時間が経てば、いつの間にか足の裏もまた汚れてくることでしょう。その意味で、限りなく世間を浄化するためには、「世間」の鏡によって自分の意志を限りなく浄化して、環境(世間)を浄化して創造してゆかねばなりません。

小林 光麿

●こぼやし みつまる 1943年1月1日、滋賀県近江八幡市に生まれる。1967年3月、大谷大学大学院修士課程を終了後、曾我量深師(元大谷大学長)に師事。現在、近江八幡市眞念寺(眞宗大谷派)住職。

お便りのコーナー

# 「もったいない」が世界の共通語に

## ケニア環境副大臣・マータイさんの提言に大反響!



弊誌が掲げるM(もったいない)が今、脚光をあびています。女性初のノーベル平和賞受賞者でケニア環境副大臣のワンガリ・マータイさんの国連での提唱によるものです。多くの方から応援のメッセージをいただきました。

幸氏のレポートを届けていただきました。内容は、ケニアで女性が自立するために行った「グリーンベルト(植林運動)」を通じて人間の尊厳を取り戻したこと。マータイさんがケニアの女性たちと、植林を通じて、経

滋賀銀行常務取締役営業統括部長  
大道 良夫

いつもお世話になり誠にありがとうございます。

早速ですが、ニューヨークの国連本部などで「もったいない」を奨励早速ですが、ニューヨークの国連本部などで「もったいない」を奨励され、同封いたしました新聞記事中にもありますように、3Rに「リペア」を加えた4Rを「もったいない運動」としてはどうかと呼びかけておられる記事が掲載されました(毎日新聞2月28日付け)。

高田頭取、石専務ともども、うれしくなっています。ご参考までにお送り申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

2005.3.11

一圓テクノス 総務部長

木田 敦

ご無沙汰しております。

最近ケニア環境副大臣のワンガリ・マータイさんが「MOTTAINAI」と言っているから、俄然「もったいない」が脚光を浴びてきました。MOHがいち早く取り入れた思想が、今、ブームになりつつある感じがします。また、楽しい記事をお願いします。

2005.3.16

### 投稿コーナー

会員の皆様の心に残った一言をご紹介します。(敬称は略します)

●森会長のご経歴・高潔な志とお人柄を随所に感じ、大変興味深く拝見いたしました。発行しておられる企画力・情報量にも感心しました。私は会社の経営方針の「コンプライアンスと環境・安全確保を前提とした、開発型の高収益企業」をめざす中で、工場の運営を預かる立場にあり、「収益以前に、CSRはもちろん従業員が、健全かつ意欲的に働ける条件づくり」を最優先と考えています。

三菱樹脂株式会社・長浜工場 執行役員 工場長

畑 正紀

●人生生きかよるだけで丸もつけ  
揖斐郡 松本 茂樹 49歳

●環境については非常に関心があり、将来の地球については大丈夫かと危惧しています

吹田市 藤原 輝之 44歳

滋賀銀行  
高田頭取  
ワンガリ・マータイさん来日記念シンポジウム「マータイさんと語る環境と平和」(2005年2月21日、新高輪プリンスホテル・来場者1200名・主催毎日新聞社)を聴講した滋賀銀行東京支店・田中伸

済的自立を果した30年にわたる忍耐力。そして未来をつくる勇氣が「環境と平和」の概念をもたらした。日本で「もったいない」という言葉に出会い、世界中に広めていきたい…。というものでした。

2005.3.1

# 「これからの希望のビジネス戦略」

講師／金子 勝

■2005年3月17日(木)

■長浜みらい産業プラザ公開セミナー

■参加者100名



長浜みらい産業プラザは滋賀県の長浜商工会議所を事務局として、管内39事業所によって構成されている。次世代の牽引役となるために、起業家精神旺盛な会員を募集。交流、連携、協業、創業を促進することで、新しい地場産業を創出し地域に貢献することを目的としている。

主な活動は、①プレゼンテーション 説明資料提出 ②審査 ③会員向けプレゼンテーション ④希望メンバーと事業化

現在、①(株)ジエイ・ピー・エム②職業紹介・派遣、②ジエフ(株)③コミュニケーションサイト、③(協)水環境科学④超電解水精製技術、④バイオエナジー(株)⑤BDFプラントなどの開発・製造・廃棄物の再資源化システム、⑤バイオビジネス創出研究会⑥バイオビジネス講座⑦ビジネスマッチング……の5事業を実施している。

今回は会員普及活動の一環として、金子勝氏を招き、これからのビジネスについて迫力ある講演をいただいた。エッセンスをご紹介します。

『成長という戦後の枠組みは消えた 集積効果で活性化』

よそ者ばかり、若者が町を救う

人と金を循環させる

万馬券の時が来た

私は浮いている、だけど挑戦すれば

万馬券も夢ではない』

## 【田中角栄の政治】

今の時代を読み取るには、過去と

比較するとわかります。過去に経験がなければ、どうかえればいかを考えます。ある意味で、田中角栄は天才でした。合理的なメカニズムを作りましたから。工業団地十道路十工場誘致十輸出で儲け〓七〇年代の高度経済成長。それらを公共事業にばら撒いて所得にする、という仕組みを作りました。大都市より地方は遅れるが、山の裾野まで潤し、山を高くした(小泉政権は裾野を壊しているから、そのうち山は崩れる)。しかし、その条件は失われた。今の財政赤字はインフレか戦争が起るからするぐらいでないとならない、地域の自立が求められている。

## 【ルールなき日本経済に 明日はない】

2003年〜2004年に戦後の枠組みは終わった。終身雇用や平等神話が崩れて、フリーターが増加し、農地は荒れ、貧富の格差が広がりました。

新しい時代を認識する(正確な情報)ことが大切です。小泉内閣は不良債権を抱える銀行に対して、ずるずると公的資金を投入しながら、銀行は貸付を減らし続けています。

ITバブルの崩壊に小泉内閣は気がつきませんでした。これはアメリカのメイנסトリート誌が2000年10月に発表していたにもかかわらずです。イラク戦争に関してはウソばかり。外国メディアの情報を見てもほいほいものです。

イラク戦争を契機に、国連安保理という最後の枠組みは終わりを告げ

ました。EU・アメリカは対立し、軍事・通貨・エネルギー・環境で激しい争いをするようになっていきます。にもかかわらず、日本政府は80年代の頭のまま。小泉政権の民営化はただ、借金ツケマワシにすぎず、改革ではありません。特殊法人は情報の開示がなく、もたなくると民営化するのが現実です。人々は小泉II改革というムードに安心してるだけ。

(私は、協調性が少なく、こんなことを言っているので、浮いてるんです)

雇用なき景気対策は90年代のアメリカの現象でしたが、今、日本に上陸しています。日本は資本主義のルールが崩れ始めています。たとえば、ホリエモンによる敵対的買収も(アメリカでは80年代で終わっています)、堤騒動は談合体質を露見しました。半分近くの株の持ち主がわからないまま、なのに経営改革と称して銀行が介入する。まさに「ルールがセツトされていない」のです。

### 「人口少なく借金多く、カミカゼ吹かす」

これから日本は未知のゾーンに入っていく予定です。2007年から人口は減少します。2050年には人口が9000万人になります。若い人が住み、営むまちづくりは並大抵ではできません。2008年には500万人のベビーブーマーが定年退職を迎えます。しかも、2008年は財政赤字の償還ピーク期です。国は借り換え借金でツケを次世代に残します。2012年には大量の年金支払いが発生しま

す。それで国の経済は持続できるでしょうか。

その頃は週5日働いて10万円の収入という、非正規雇用である500万人のベビーブーマー・ジュニアのフリーターが会社を支えるでしょう。なぜなら、正規雇用者は保険料だけでも、人件費が2割以上割高なうえ、過酷な労働条件で離職者が増加するからです。これは成長経済を念頭に置き、商品価格を下げ給料を下げた経営の結果です。

中小都市は対応を誤ると大変なことになります。もつ訊ない。これからなんとかなるだろうと思っただけ、カミカゼはふきません。

### 「地域で集積し 人・物・金を回そう」

私たちはどうするか。地方分権化によって地元で集めた税金は地元で使う。そして、お金が地元で回る循環型経済を目指すこと。そうして経済を底上げします。循環する部分は生き残れる。ネットワークを作り、新しいことをしなければならぬ時が来たのです。我慢して環境を良くしようと言っても、食えないや駄目。

地域経済の底上げを厚く、フェイスT Oフェイスで安心、信頼できる品物を作って売る。地産地消なら、流通コストを省くと利益は出る。そうやって地域のビジネスを創るのです。ビジネス指南書に頼るより社会がどう変わったかを見極めるのが大切です。

今までは、オンリーワンでした。しかし、オンリーワンだけでは孤立します。

これからは地域ぐるみの集積効果を狙い、地方循環型経済をつくりましょう。中小企業が集積すれば、人材十資金十技術十販売能力十マーケティングといった中小企業の弱い仲介機能を補い合うことができるのです。単体で動くよりネットワークで動いたほうが効果が出ます。埼玉や花巻で実証済みです。多品種、少量生産で営業を増強するのです。小さく生んで大きく育てる。まさにみらい産業プラザの役割でしょう。

だが、中小企業のオヤジは「会社はオレのもの」という意識が強く協力は下手。1+1=3とするには、地域に集積機能を持つことが大切です。定年退職者、キャリアを持った人々を引き寄せ、大学と協同する。ただし、バリオ大学がその役目を担えるには十年かかるでしょう。

黒壁の町づくりで交流人口を増やした後の戦略はそこにあります。

### 「よそもの・ばかももの・若者が地域を救う」

土地にある資源をどう活かすかに、取組みの出発点があります。極端に言えば、タダの水を、バクに詰めて売つてもいいのです。岐阜の恵那では地元の栗を使った栗きんとんを地域限定数量限定で販売したところ売り切れ。下伊那では、営農家がギョランティを出資し、生産高の差額はそこから補填。収入を安定させる方法で地域の産物から収入を得ています。

徳島の上勝町では、山の木や葉をつまものとして販売。南天、葉蘭、竹、

笹、ぶどうつるなどの加工品が高級料亭や旅館に、飛ぶように売れる。これは市場リサーチをした結果、高級料理に天然素材の飾り物が不足している事に目をつけた。山にたくさんある、山を良く知る、住民にファックスで受注状況を知らせる、あるものを売る。山も手入れされ、住民は働き、対価を得る。町も潤い、顧客は喜ぶ。

宮崎県都農町は、町を挙げて、ぶどうの土づくりから始めました。元気な木を作るのです。微生物を使い土づくりから丈夫なぶどう木を育てました。そして、限定ワインに加工したのです。加工すると、売値は決まります。市場に左右されない商材ができました。地元へ金が供給されます。

これらは、地元「よそ者、ばかも、若者」を注入した結果です。人材の選び方です。言い換えるなら、ほかの地域から、こだわったことに興味を持つ、年齢の低い経営者を選ぶことで

す。相互作用で町が活性化でき、町を開く。これは地域の明暗を分けることだといっても過言ではないでしょう。

地域の未来は、今まで経験したことのない中から生れます。つまり、挑戦すれば、万馬券が当たることも夢ではないのです。

●かねこ まさる 1952年生まれ。東京大学大学院経済学研究所博士課程修了。慶応義塾大学経済学部教授。専門は財政学、制度の経済学。豊かな歴史感覚のもと、現実から乖離した経済学の現状を批判し、説得力ある分析・評論を展開する。

●著書Ⅰ「市場と制度の政治経済学」(東京大学出版会)、「反経済学」(新書館)、「反グローバリズム」(岩波書店)、「日本再生論」(NHK出版)など多数。  
●協力Ⅰ長浜みらい産業プラザ  
●聞き取り取材Ⅱ編集部



共生を考える(6) — 第十八回滋賀県経営研究集会アンケートより

# 第二創業で生き残りにかける企業人たち

基調講演／「循環型社会づくりと新事業創出 ～経済至上主義を超えて～」  
 演者／森 建司

■平成16年10月15日(金) 13時～20時30分  
 ■大津プリンスホテル  
 ■滋賀県中小企業家同友会主催  
 ■参加者600名



滋賀県経営研究集会におきまして循環型社会システム研究所・代表の森建司が基調講演をさせていただきました。参加された中小企業経営者様はじめ、明日を担う従業員の方から多くの感想を頂戴しました。講演内容と参加者の感想をお知らせします。

## 【講演内容】

一、経済至上主義から環境倫理社会へ  
 物の豊かさを至上の幸福と考えた時代  
 ↓経済が支配する社会  
 ↓抑制なき大量主義「Q(クオリティ)C(コスト)D(デリバリー)」が教えるもの  
 ↓供給者の論理で作られた常識  
 ↓消えてしまった自己の思い(哲学)  
 ↓環境破壊、大気汚染、資源枯渇、生物汚染  
 ↓刹那的な快楽志向、倫理道德の欠落  
 ↓自由主義経済の限界

二、新時代の姿  
 二ヘーゲルの弁証法(循環する永遠の命)  
 ↓循環型社会  
 ↓科学的技術至上主義  
 ↓見直し論  
 ↓「物じゃないよ」の価値観

三、循環型システム研究所  
 自己矛盾の世界  
 ↓破壊と創造(自己否定から生れる新しい自己)  
 ↓NPO支援  
 ↓バイオマス事業

四、循環型ビジネスとは何か  
 ↓静脈産業が全てではない  
 ↓環境倫理に沿った経営手法  
 三万よし理念に学ぶ  
 ↓農耕民族型哲学(循環、共生、抑制)  
 ↓NPO型、コミュニティ型、地産地消型、小規模産業から  
 ↓バイオ系、ビジネス

五、循環型社会を目指すMOHの会  
 ↓生命の循環を伝える「遺伝子」と「知恵」  
 ↓Mもつたない(循環)、Oおかげさま(共生)、Hほどほどに(抑制)

## 【参加者の感想】

↓人生訓・家訓・社訓・校訓・憲法

●人間本来、生きてきたことを思い出し、受けました。ある意味、なつかしく思える事や不便に感じる事もあるけど、やつてやれないことではないのでは、と思います。

八日市商工会議所 尾崎慶子

●過去を破壊しなければ新事業は生まれ、と言われた事が心に残りました。私どもの会社も口コミの仕事です。小さい会社だから出来る事、小さくてもピカッと光る会社でありたいと思います。

タケツネ(株) 武田愛子 常務

●第二創業は自己否定からスタートする。現在の仕事、自分を否定することを考えてみようと感じた。

相互自工(株) 佐竹隆 代表取締役

●循環型社会について、今までの自分の考え(品物の循環をイメージ)より広い意味で考える事を学び、持続可能な会社作りをしなくてはならないと思った。そのための、物の考え方(自己の)を自己否定する事は、実際にできるかどうか疑問である。

法面プロテクト(株) 酒巻勤 代表取締役

●大企業には出来ないビジネス！価格ではない！地域密着！を考えて行かねばいけない。

ピアライフ(株) 辻直美

●スピード優先の思想が社会全般で

言われるなかで、対照的な「スローライフ」の発想が大変に参考になりました。人々が不安を持った中で生活(仕事、家庭)していると感じる昨今、再度、人と人とのコミュニケーションを持つ事が大事だと意を強くしました。

ナイスザコー(株) 上田信太郎 役員

●経済至上主義の「金」「物」の時代から、これからは循環型社会への変革を促す行かなければならない事が必要を、改めて考え直す事ができました。

トライ(株) 小倉康紘

●「自分のやつている本業が社会の為になっているか」という問いをもう一度してみたいとおもいます。

EGS(株) 松崎悦子 代表取締役

●森会長のお話により、私どもの小さな工務店でも、生き残る事が出来る……と思えました。こだわりの社長とその考えを実行していく社員がいるからこそ、お客さんが幸せになれるのだと思います。

安土建築工房(株) 小南久男 取締役

●循環型社会作りと新事業創造というテーマが今、本気で日本中で考えないといけないテーマで、一つ一つのお話が深く響きました。問題意識がいかに大事かということ、常に変化していかないといけない企業にはやっぱり理念、哲学があるというのを実感しました。

古川与助商店(株) 河村朱美

●「次に進む為には自己否定が必要」

という言葉が非常に強く心に残りました。やはり、周囲に役立つ為には、自分は何ができるのかというところから始まり、その為には今のままでいけないというスタンスを今日、持つて帰ることができた。

ウイスコーポレーション(株) 丸山高信

●物の時代から人の時代になっている。お金も必要であるが、本質はお金ではない。すべての生命に対して循環が必要となる時代、人も循環で死後へ文化を継承して行く必要があると実感しました。ありがとうございます。

やわらぎ住宅(株) 福永喜代司 不動産部長

●破壊する事をやめ再利用するビジネスを今後、検討します。又、循環型社会をもっと勉強したいと思えます。

メックケープルメディア(株) 松原日出夫 常務

●三十年前の姿にたちもどり、良き時代の、人と人とのふれ合いを大事にする意識こそ、本当の、これからの人間、経済の発展になると思えます。

ジェイエイエフ(株) 中村勇治 営業

●経済至上主義の時代は過去のもの。十年、二十年後の社会は、金もかけが幸福と思う人は、いなくなるだろう。物の豊かな時代から心の豊かな時代になり、自然にもやさしい時代になるよう、また、ならなければならないと思う。

たねや(株) 林元三 総務人事課

●経済至上主義の終わりではないかと私も思います。それとともに倫理観がある社会へ。私たち、経営者がしつかりした理念を持って社会に貢献していく必要があるのではないかと思っています。

谷川運送(株) 谷川健史 取締役

●世の中に受け入れられなくなったから、売り上げがあげられない。もう、世の中に必要がなくなったのだから、立ち止まって考えなければならぬことを知りました。

ラルジュ(株) 小松嗣幸 代表取締役

●いつの時代も、社会が変わっても変わらないのが人間。いかに人間が変革していくか、基本はこの一点にあるのではと思います。企業もすべて人間の幸せの為にありと思うから。

八幡住宅(株) 川上優 代表取締役

●循環型社会の中には生命の存在もある。循環、共生、抑制をもって自己否定から新しい自己の創造を考えたい。

みんなで作る新聞社(株) 青木俊博 営業リーダー

●人を大切にする、経営理念をもつことの大切さを教えて頂きました。経営者は、人の話を聞く事も大切だと思いました。

城南自動車工業(株) 宮崎勝代

●この講演で自分が思っている、今までの事業方針などの見直しが必要だという考えに、大きな勇気をあたえてもらえた。今までは役員の人たちが築き上げた道や実績を否定する

ことになるし、今現時点で売り上げ六十%以上を占めているので、自身にも弱いところがあった。この講演で、これからは見直しを実践していく勇気が持てた。

(有)大島商会 平澤俊彦 班長

●環境倫理社会に変わる必要性について語られたことに感動しました。大きな企業の社長さんが、人間の心が根底にあることが大切であることの理念を聞き、驚きました。私の仕事の障害者福祉も今、危機にいます。しかし、今自分に来ることは何かというこのヒントをいただきました。

社会福祉法人やまびこ福祉会 島田多美枝 施設長

●自己否定・破壊と創造は非常に重要だと思ふ。しかし、長年やってきた人間にとってどうしてもそれができないものである。そこで、どこまで融合して発展的に考えられるかが、第二創業のテーマではないか。中小企業は特に消費者との結びつきが多い為、口コミが全てという考えにすごく共感した。ということは地域への結びつき・存在意識が重要であるということだと気付いた。

(株)湖陸電機 中村啓道 取締役営業部長

●本年三月まで民間企業におりましたので、全ての点でうなずきながら聞かせて頂きました。「第二の創業」これにつきますと思います。

滋賀大学 吉野裕次郎 理事

●素晴らしい、私もこう語りたい。「この店の商品は私の生き様」そこま

で私が肚をくくっていたかというところまで聞いて頂きました。お客さま、現場、話し合い、顔を確かする。今日から、いや今からやります。

(有)パンの街かどや 富田晃夫 取締役

●今まさに、日本の社会を表していると思います。本当に、時代によって変わっていかなければいけない部分、変わらなくて、変わってはいけない部分、自分にしか見えない時代の大切さ……を次の時代に伝えなくては、と思います。伝えられる自分になりたいです。

BPK(株) 増田敬子

●今までの、大量生産・大量消費についていろいろ考えることが出来たと思ふ。これを自社でどのようにビジネスにつなげれば良いか、考えていきたい。

シバハラ(株) 芝原誠二

●森会長の三十年前に戻る話は、少子化の影響による百年後の人口を考えると、その通りだと思いました。

びわこ成蹊スポーツ大学 竜田洋部 長

●循環型社会の第二創業、自己否定の必要性など参考になった。MOHの会の取り組みなど話を聞くことが出来、良かった。

八日市商工会議所 伊藤正之 経営指導員

●「自己否定→新たな創造」という考え方は、現在の大学に必要な考え方だと思ふ。また、新規事業を今後考えていくにあたり、「三方よし」

という考え方は、「ISJにおける「win-win」のビジネスモデルと同質であり、賛同する。

滋賀県立大学 松居祐一 教授

●「死の谷」という言葉が出てきた瞬間、驚いてしまった。「MOHの科学」(日経BP社)という本を読んでいる最中で出てきた言葉だからである。

(株)三浦商会 西村智律

●主婦の立場で環境問題の話は聞いた事はありませんが、企業としての話は違う面からの気付きを頂きました。経済と環境は相反するイメージがありました。変わっていかなければいけない事を感じました。

大生産業(株) 石原徳海

●第二創業の意義がよくわかりました。開発を担当する立場ですので、新しい会社の方向に役立てたいと思ふ。

(株)シガメック 松田夫仁也

●あたたかな心で、じっくりみつめていくと、次のステップが見えて来るんだなあと感じました。循環型経営の話が聞けてよかったです。

サクシード(株) 原田英俊

●時が流れるにつれ、社会で「良し」とされているものが変わってきました。振り返り、原点を見つめることも大切だと感じました。

トライ(株) 黒川直美

●循環型社会づくり(経済至上主義ではない)への思いに感動しました。

近江八幡商工会議所 川島秀樹

●開発は、自己否定からはじまるということ、新しいことをするには、古い物を捨てる勇気がいります。今までのことが、正しいのではなく、常に挑戦的に考え、立ち向かって行きたいと思ふ。

富久や(株) 中谷美奈子 部長

●循環型社会について、私自身、環境ビジネスリサイクルであると認識していましたが、本日の講演で、百八百度考えが変わりました。

滋賀建機(株) 塚本大輔 所長

●「過去を破壊」、循環、出来るよう目指したいと思ふました。

西常商店 西村常博

●持続可能な循環型社会に対する哲学、倫理学からあるべき姿をお聞きし、新たな感動をいただきました。病気になるまでやらなければならぬことをやると決意され、実際やられている姿をみて、後れをとらないようにしなければと決意いたしました。

本間工業(株) 本間義典

●新しい社会システムづくりに対する情熱に感動を受けた。

龍谷大学 REC 櫻井雄三 産業連携コーディネーター

●循環型を目指したいと考えます。(株)比叡ゆば八本舗 八木幸三郎 専務

(順不同)

# 循環型社会を支える基本理念

## 循環型社会入門③

森 建司



イラスト：佐々木洋一

### 1. 循環・共生・抑制(つづき)

循環型社会とは本来、地球上においては当たり前前に存在する世界のことである。

その循環型社会が今、未来の理想社会として注目されている原因は、近年特に人間だけにしか出来ない経済活動などによって、循環型社会の自然の流れを歪めたり、回復には困難が予想されるような自然破壊をしたりしていることに警鐘を鳴らし、そのような行為はやめよう、ブレーキをかけようという思いで、この当たり前の社会である「循環型社会」のあり方を改めて問い直そうとしているのである。

したがって循環型社会形成とは、少なくとも今から30～40年前の生活に戻せば良いことである。それは環境負荷を減らすための新しい研究や、科学技術の格別の進歩がなくても出来ることであり、京都議定書で目標としているCO<sub>2</sub>の量でも自動車の台数や、家庭における家電製品や情報機器類を当時の程度に抑えればよいことである。何も非常に困難なことをやっつけようというわけではない筈である。

しかしこの説を言うと、現実には時計の針を戻し1970年ごろの生活を復元することは、絶対に不可能であるという大合唱が帰ってくるような気がする。

それはなぜか

まず、経済が30年前より大きくなつて戻せない。戻せば大量生産、大量消費を前提として成長してきた大企業に倒産が出るのか、流通や家庭などにある膨大な在庫の始末をどうするか、生活者も一度なれた快適な生活習慣が戻せるはずがないではないかとか、物心両面からの理由付けがされそうである。

しかし反論をするとすれば、経済の収縮は大量生産をするために行つてきた工場の自動化、機械の高性能化によって高められてきた生産性を30年前のレベルに落とし、その分高くなったコストはやはり30年前の価格で消費者が負担する。そして消費者は「使い捨て」にしないで30年前のように大切に使う。

「使い捨て」のライフスタイルをやめることはそんなに難しいことではない。着古した服を着て、履き減らした靴をはいている人を立派な人と敬う社会通念をつくること。楽しみは果てしなく刺激的なものばかり求めるのではなく、家族や近所の人々との交際や、お祭りとか学校のイベント



# 講演日記

皆様のご支援でたくさんの講演依頼を頂きました。  
ダイジェスト版で2005年1月～4月の講演をお知らせします。

- 日 時:2005年1月17日(月)
- 主催者:滋賀県立八幡商業高校
- 目 的:将来の人生観を養う
- テーマ:「近江商人に学ぶこと」
- 場 所:滋賀県立八幡商業高校セミナーハウス
- 参加者:15名
- 演 者:森 建司
- 内 容:1、ビジネスは「商い」から始まる 2、商いの基本は何か 3、あほになる、掃除をする、後始末をする、辛抱・根性・気配り 4、かっくん・かっくん・すーきっ」接近話 5、20世紀の経済社会から21世紀の循環型社会へ 6、近江商人の知恵 7、新規事業が目白押し 8、苦労して見つける自分の生きる道

- 日 時:2005年2月4日(金)
- 主催者:滋賀県議会環境対策委員会
- 目 的:話題提供人
- テーマ:「循環型社会の構築について」
- 場 所:滋賀県議会
- 参加者:22名
- 演 者:森 建司
- 内 容:1、滋賀県における廃棄物リサイクルの主な課題 2、エコタウンの事業展開について 3、循環型社会形成への取り組み

- 日 時:2005年2月25日(金)
- 主催者:八日市ロータリークラブ
- 目 的:例会卓話
- テーマ:「循環型社会を目指す～MOHの会」
- 場 所:八日市商工会議所
- 参加者:40名
- 演 者:森 建司
- 内 容:1、経済至上主義は終焉する 2、循環型社会の社会像 3、MOHの会



- 日 時:2005年3月1日(火)
- 主催者:京都キャリア交流プラザ
- テーマ:「環境倫理と企業経営～循環(もったいない)共生(おかげさま)抑制(ほどほどに)～」
- 場 所:京都キャリアサポートセンター
- 参加者:15名
- 演 者:森 建司
- 目 的:就職活動支援
- テーマ:自立する中小企業の仕事探し
- 内 容:1、景気は回復するのか 2、これからの時代はどうなるのか 3、新しい価値観による社会の誕生 4、これからの企業の生きる道 5、わが社の戦略 6、循環型社会システム研究所 7、個人でできる新事業への挑戦

- 日 時:2005年4月1日(金)
- 主催者:長浜バイオ大学
- 行事名:2005年度長浜バイオ大学入学式
- 場 所:同大学体育館
- 内 容:祝辞「バイオビジネスを共に成長させましょう」
- 演 者:森 建司



## <テレビ出演>

- 日 時:2005年3月11日(金)22時放映
- 局 名:びわ湖放送
- 番組名:ニューズトーク淡海人
- テーマ:循環型社会を探る キーワードはM・O・H
- 出 演:森 建司



トへの参加の中にも見出し、旅行なども海外とか遠方ばかりでなく近くの山に登ったり、古寺旧跡をめぐったりして満足するような意識に変えれば、すぐに出来ることである。

地球上の多くの生物やその他あらゆる存在と、時には戦い、時には収奪し、獲物にするようなこともしながら、しかし永遠の未来に自分たちの人間としての種も生き残りを図るならば、われわれ人間の「欲望を抑制」し、良き環境の持続可能な範囲での「共生」を実現しなければならぬ。「欲望の抑制」など不可能なことであるとすると、経済至上主義の考え方は、この際きっぱりとやめるべきである。

もり けんじ ●1936年、滋賀生まれ。滋賀県立長浜北高校卒業。新江州(株)代表取締役会長。滋賀経済同友会特別幹事、滋賀経済産業協会副会長、滋賀県教育委員会委員など  
著書/吃音はなれる 遊タイム出版

森 建司

中国・宋の学者、朱子が編纂した教科書

# 「小学」を学ぼう

その5

井上 昌幸

これまで、四回にわたって中国古典の「小学」についてその内容を説明してきました。約九百年前に書かれたものであり、理解しにくいところがあったと思いますが、「小学」を初めて読まれた方も多いのではないかと思います。どのような内容であるかを知ってもらうために述べてきました。

今回は総集編として、大事な部分をピックアップして説明していきます。

これまで述べてきた内容と重複している部分があります。我々が書物を読む時、一回読んで理解したつもりになりがちですが、「読書百遍、意自ずから通ず」（本を何回も繰り返し読んでいけば、その内容は自然と理解できるようになる）と云われるように、繰り返し読むことが大切です。

近江聖人の中江藤樹と云う人は、若い頃に中国古典の「大学大全」を毎日二十枚読み、百遍通読してやっと内容が理解でき、その後で「論語」や「孟子」を読んだら苦労なく理解できたと言われています。

## 「小学」の基本

「小学」の基本となるのが灑掃・應對・進退です。灑掃というのは板の間や床を四つんばいになって雑巾がけをすることです。今は雑巾がけをすることがなくなりましたが、整理・整頓・清掃することです。例えば玄関で靴を脱いだ時に靴がきちんと並べられているか、また椅子から立ち上がった時に椅子をきちんと元の位置に戻しているかを自分自身の行動から見直し

てみて下さい。そして今から実行しましょう。

・靴を脱いだ時に靴をきちんと並べているか。

・椅子から立ち上がった時に椅子をきちんと元の位置に戻しているか。

次に対応ですが、人間は対応によつて泣いたり笑ったり、すべったり転んだりしていると云つてよいでしょう。人生はほとんど対応だと云つてもいいのです。喜怒哀楽はこの対応によつて起つてきます。

次に進退ですが、いかに進み、いかに退くか、人間というものは出かたがあり、引きかたがあります。いつやめるかということが大事なことで、腐った果物みたいなしがみついているようなのは、これは生き恥であります。

人間は絶え間なく「灑掃・應對・進退」について練磨・努力すれば、それが身に付いて無意識的に行動するようになります。

我々の正しい生活とは「習慣の織物」といっても良いでしょう。従つて子供の頃に良い躰を身に付け、大人になつてもよい習慣をつけることが何より大切であります。

習慣や知識が本当に身につけてきますと、自分の行動に矛盾や衝突がなくなり、そして本能的・直感的になつてきます。これは自動車の運転の習い始めと同じことです。最初のうちは車と運転者はうまくなじまないが、だんだん練習しているうちに車と人が一体になつてくることを皆さんも経験されているはずですよ。

物事はどうしても時間をかけて習熟する必要があります。

## 人間の三不祥

- ・幼い時に上の者に仕えない。
  - ・卑しい人が立派な人に仕えない。
  - ・おろかな人が賢い人に仕えない。
- これらは人の三不祥であります。

幼い時に上の者に仕えないということは、上の者に対して尊敬することを知らないということです。幼児は物心がついてくると敬う対象を求めます。一般的には母を愛の対象として、父を敬の対象とします。その幼児が人を敬うということを知らなくなつてしまいました。そのような結果、少年犯罪が増えてきました。あとふたつも意味は同じことです。

## 三不幸

- ・年が若いのにどんどん上へあがる。
- ・親のお蔭で若輩が重役になつたりする。
- ・いろいろな優れた才能があつて、弁が立つたり、文才があつて表現が上手なこと。これも大きな不幸であります。

年が若いのにどんどん上へあがる。世の中はこんなものだと思つたら大間違いである。これは修練というものを欠いてしまうことになる。

人間を本当に大成させるためには長い間の年期をかけた修練・習熟というものが要るのであります。

## 聖賢の教え

上に立つ人が道において貴ぶところのものが三つあります。

- ・容貌・態度から粗暴さをなくす。
- ・顔色を正して信頼を得る。
- ・言葉つかいをキチンとして心がいやしくならないようにする。

これは中江藤樹の「五事を正す」と同じ意味です。

- ・貌…なごやかな顔つきをする。
- ・言…思いやりのある言葉で話しかける。
- ・視…澄んだ目でものごとを見つめる。
- ・聴…耳を傾けて人の話を聴く。
- ・思…まごころこめて相手のことを思う。

## 人間の三原則

我々人間には三つの原則があります。

- 第一は自己保存ということ。
- 第二は種族の維持・発展ということ。
- 第三には無限の精神的・心理的向上で、これは人間自然の大原則です。

これは「アブラハム・マズローの五段階の自己実現」と同じ意味です。

- 一、生理的欲求…食物、水、空気、性
- 二、安全と安定の欲求…危険から守

## 本の紹介

最近入手した、気になる本を  
ご紹介します。

本

### 「共生の森の物語り」



●企画／発行／NPO地球デザインスクール  
●内容／NPO地球デザインスクールが手掛けた、「共生の森」の基本計画のための報告書。「計画書」がひとつの「物語り」として記されており、図を多く用いた解説は丁寧に理解しやすい。また、本全体のデザインが柔らかなつくりになっているため、親しみの溢れる一冊となっている。

●三、所属と愛の欲求：親や仲間からの愛情をほしがる。

●四、承認欲求：認めてほしい、評価してほしい欲求

●五、自己実現の欲求：自己の可能性を最大限に実現したい欲求

●自己実現型人間の特徴が十七項目あり、その中のいくつかを列挙します。

●自己・他者・自然に対する受容的

### 「世界湖沼ビジョン〜湖と人、共存の道をひらく〜」



●監修／吉良竜夫  
●編／財団法人国際湖沼環境委員会  
●発行所／新樹社  
●価格／2835円  
●内容／湖とこれを取りまく生態系の危機的状況を示し、いま為すべき湖沼生態系の積極的保護と、持続可能な利用のための行動指針としての世界湖沼ビジョン、理念・戦略を紹介する。

態度

●自発的行動

●物事に対して、自己中心的でなく、問題中心である。

●人生の基本的に必要なことを繰り返し新鮮に、無邪気に、畏敬や喜びをもって味わうことができる。  
●深い対人関係

●今一度、自分の日常の行動を振り返り、気がついたことがありますら、早速、今日から良い習慣を身に付

### 「まちづくりはノーサイド」



●著者／かわばた へい  
●発行所／ぎょうせい  
●価格／2300円  
●内容／「町自体から触発を受け続けた」と語る筆者が参加した、観光のためだけでなく、近江八幡に関わる全ての人間のためのまちづくり。その記録が収められている。  
●巻末にまちづくり運動関連年表を収録。

けるように努力して下さい。論語の中で曾子が、

「吾日に吾が身を三省す」（私は毎日、自分をたびたび省みてよくないことは省いている。）と云われている。

以上で「小学」についての説明を終わりたいと思います。

（安岡正篤氏著「人間としての成長」PHP文庫を参照）

### 「フン藻で環境がかわる〜劇的！農薬・ダイオキシン分解も〜」



●著者／酒井弥  
●発行所／技報堂出版  
●価格／1680円  
●内容／35億年前から酸素をつくり続けているフン藻。このフン藻の性質を利用した地球環境の保全・回復策を提示する。

### 「ラジオ深夜便」 3月号 別冊ステラ

●特集「ナマケモノになりたい」  
●著者／辻 信  
●発行所／NHKサービスセンター  
●価格／320円  
●内容／明治学院大学助教授で文化人類学者の辻氏がナマケモノ（動物）から学んだ、「循環型社会の暮らし」を語る。氏はスローライフの提唱者。

井上昌幸

●いのうえ まさゆき 1940年1月1日生まれ。1961年大阪府立大学工業短期大学部卒業。1961年日本電気硝子（株）入社。2000年日本電気硝子（株）定年退職。現在、滋賀県農業交流連合会会長、STEPI（滋賀県シテテクニカルエンジニアリングパートナーズ企業組合）専務理事、滋賀県技術アドバイザー、大津木鶏クラブ代表世話人、近江素交会代表世話人  
資格／ISO14000&9000審査員補

# 東山さんのこと

今関 信子



「地球が怒っているんじゃないか」「最近の気候、おかしくありません?」そんな言葉をあいさつのように交わすようになった2004年のことだ。秋の終わり頃から、熊がでた、熊がでた、とテレビが報じるようになって、私は、東山さんを思い出した。東山さんは、和歌山市に住んでいた。母熊が撃ち殺されて、孤児になった赤ちゃん熊を、鳥獣保護員をしていた関係から、育てることになったという。ノンフィクション絵本にしようという企画が立って、東山さんに会った。

赤ちゃん熊は、太郎と名づけられていた。ある日、東山さんは、太郎のことを役所に報告に行った。その時のやりとり。「太郎はすくすく育っている。それにくらべて野生の熊は、食べ物を採すのに必死だ。この前、まだ子ども熊が、レストランの裏で「ミ箱をあさっていたら、危険だと殺されてしまった」「熊は危険だから、仕方がないでしょう。自然を守れ、保護しろと言っけれど、自然は金をくれない」それを聞いて、東山さんは思わず怒鳴った。「金持ちになりたいと、実の生る木を切り倒して、杉やヒノキを植えたのは誰だ。金持ちになったから、いいテーブルがほしい、いいタンスもほしいと、残っていた太い木を切り倒したのは誰だ。家が、テーブルやタンスでいっぱいになったら、『自然はいい』とか言いながら、山に葉を入れるように、道路を造って自然を壊したのは誰だ。『いい空気はおいしい』って、弁当をはくばく食べて、食べ残しをばいと捨てたのは誰だ。腹へこの熊がそれを食って悪いが。人間の食い物はうまいんだ。熊が人里にくるのは当然じゃないのか。悪いのは人間の方じゃないのか」その場で、鳥獣保護委員のバッチを返した。

東山さんは、言った。「わし、小さいとき、庭の水撒きがお手伝いに決まっていたんだが、その日、遊びすぎて暗くなった。大急ぎで庭の草や木に水やりをしていると、『どっぜん水をまくんじゃない。シツ、シツ、と』いってから、一呼吸おいて水をまけ。里山の生き物が、そのあたりに出てきているかも知れないんだ。暗くなったら、おまえの時間じゃない。自分の都合ばかり考えるんじゃないよ」と、大きな声で母親にいさめられたんだ。子ども心に、自分のことしか考えなかったことが恥ずかしかった。そして、目に見えないけれど、いろいろな生き物といっしょに暮らしているんだと思った。柿の実

ちょっと一服のコーナー  
M・O・Hの窓



を全部もがなくて、鳥たちのために残すとか、ツバメのために障子に穴をあけておくとか、昔の暮りしには、人間だけが生きているのではないと、心配りされていたんじゃないのかな。わしらの山は、山の上二割は手をつけない。だから、笠をかぶったような形になっている。昔からのやり方だ。あのやり方なら、山の生き物も生きていけるんだが」

死を覚悟したミッドウェイ海戦を生き延びて日本に帰った東山さんは、生きるということを考えてという。生きたくても生きられなかった戦友を忘れられないと語る東山さんの生き方には迫力があつた。



## あいとうエコプラザ 菜の花館がオープン

滋賀県東近江市(旧愛東町)は、菜の花プロジェクトのさがげともいえる地域で、菜の花の循環を通して、環境経営を推進する地域として、全国から注目を集めている。菜種油を食用、バイオ燃料、せっけんに利用することで官民が一体となった運動を展開中だ。

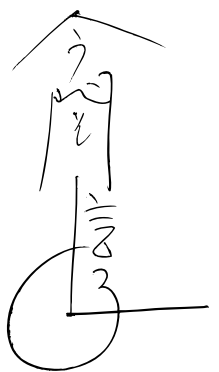
先ごろ、「あいとうエコプラザ菜の花館」がオープンした。同館は、バイオ燃料の実践施設を中核に、もみから等の炭化プラントが置かれている。また、環境教育の一環として、市民の実践発表にも力を入れている。

このほど、本誌3号で紹介した、「家訓を考えよう」のパネル(実物)が展示された。市内在住の4名による家訓作りの第1号写真。

菜の花学会も企画されており、同館の動きに注目したい。

●いませきのふこ(1942年東京生まれ。東京保育女子学院卒業後、幼稚園教諭となる。7年間保育者として働いた後、創作活動にはいる。日本児童文学者協会理事。

〈主な著書〉「小犬の裁判はじめます」1987 童心社 青少年読書感想文コンクール課題図書。「さよならの日のぬすみ花火」1995 国土社 青少年読書感想文コンクール課題図書、厚生省中央児童福祉審議会推薦文化財。「地雷の村で」寺澤屋つくり2003。PHP研究所 など多数



# 「持続可能」な生活とは何か

## ——世代間倫理 ②——

本田先生の環境倫理学講座 Part.6

本田 裕志

### ■「持続可能な開発」の提唱と受容

一九八四年、深刻化する地球環境問題への世界的な対処の基本方針を確立する目的で、国連の委嘱により「環境と開発に関する世界委員会」（委員長を務めたノルウェーの女性政治家の名を冠して「ブルントラント委員会」とも呼ばれます）が発足しました。これは、各国の政・官・学界から（国の利害代表でなく）個人の立場で参加した委員たち（日本人一名を含む）による国際賢人会議であり、三年間の研究と討議を経て一九八七年に、『私たちの未来』（Our Common Future）日本語版の訳題は「地球の未来を守るために」という報告書をまとめました。この中で提唱されたのが「持続可能な開発」という概念です。その五年後の一九九二年には、この「持続可能な開発」を表現する具体的方策を世界各国が話し合うために、ブラジルのリオデジャネイロで「国連環境と開発に関する世界会議」（地球サミット）が開かれ、「気候変動枠組条約」などが締結されたこと、さらに五年後の九七年には、この条約の第三回の締約国会議（COP3）が京都で開催され、条約を実施し地球温暖化を防ぐための拘束力を伴う取り決めとして「京都議定書」が定められたことは、よく知られています。

このように「持続可能な開発」は、提唱後急速に受容され、環境問題に対する現今の取組みを主導する国際的キー・コンセプトとして機能しています。

### ■「持続可能性」と世代間倫理

右の報告書の中で、「持続可能」とは「将来の世代が自らの欲求を充足する能力を損なうことなく、今日の世代の欲求を満たすこと」と定義されています。このことの実現をめざすことは、現在の世代の欲求の満足という利益に対して、未来の世代の同等の利益を犠牲にしてはならないという制約を課すことですから、ここには明らかに、前号で紹介した世代間倫理の考え方が反映されています。したがって、環境倫理を通じて前面に出てきた世代間倫理というこの新しい考え方は、「持続可能性」の概念を介して、今や国際社会の共通認識として定着しつつあると言えます。

### ■持続可能な生活の具体的イメージ

ところで、世代間倫理の要求に答えて「持続可能性」を実現するということは、具体的に私たち一人ひとりがどのような生活をすることを意味するのでしょうか。右の定義はやや漠然としていて、この点についての明確なイメージを与えてくれませんが、その後ハーマン・デイリーという経済学者が、「持続可能性」のより具体的な意味を説明しています。この説明は、第三号で言及した自然環境の機能の分類に基づいて比較的わかりやすいので、ここに紹介することにしましょう。

(1) 自然環境のソース機能に関して、まず再生可能資源の利用は、その再生速度を超えなければ持続可能である。たとえば漁獲は、獲り残した魚の繁殖により、その魚種の個体数が安定的に保たれる限度内であればよいのです。

(2) 同じくソース機能に関して、再生不能資源の利用は、再生可能な資源を持続可能なペースで利用することで代替できる程度を超えなければ持続可能である。たとえば石油は、太陽熱や風力などの再生可能なエネルギー源が安定的に利用できるようになるまでの「つなぎ」のエネルギー源と考え、石油から得ているのと同じだけのエネルギーが再生可能エネルギー源から得られるようになる目途がつかうまで、石油が涸渇しないようなペースで利用すればよいこととなります。

(3) シンク機能に関しては、廃棄物や汚染物の排出が、それらを吸収・分解・浄化する自然環境の能力を超えないペースでなされれば持続可能である。たとえば地球環境がCO<sub>2</sub>を吸収・分解できるペースは、これも第三号で述べたように、炭素換算値で年間二十億トンが限度とされていますから、全世界のCO<sub>2</sub>年間総排出量がこれを超えなければよいのです。

### ■世代間倫理が私たちに課す制約

デイリーの右の説明に基づいて、私たちが持続可能な生活を実行し世代間倫理の要求に答えるためには、どのような制約を受け入れる必要があるか考えてみましょう。これまでも何度か言及してきたCO<sub>2</sub>排出を例にとると、前号で述べたように、現在の全世界の年間総排出

# むだいずむ

© しみず やすお



\*1コマ目にもどる→

量は六十億トンを越えていますから、右の(3)に示された持続可能性の基準に三倍も違反しています。逆に言うと、私たちは未来世代に対して、CO<sub>2</sub>排出を伴うエネルギーの消費を現状の三分の一に減らす義務を負っていることとなります。

しかも、この義務を果たすために、CO<sub>2</sub>を排出しないエネルギー源として原子力を代替利用することは許されません。なぜなら、これも前号に述べたように、原子力の利用は照射済み核燃料という非常に危険で有害な廃棄物の排出を伴い、これは人工的に無毒化することもできないし、自然分解には気の遠くなるような時間がかかるからです。これに対して、「放射性廃棄物は安定した地層に埋めて保管すれば環境に排出したことにならない」という主張もあります(そう宣伝するテレビのCMもあります)が、そもそも何万年以上も放射能を失わない物質を、「安全にずっと保管できるような」安定した地層」など、地球上に(地震国・火山国の日本にはなおさら)存在するのを考えてみれば、この主張は未来世代に問題を丸投げする無責任さの表明にすぎないことは明らかでしょう。

## 本田 裕志

● ほんだ ひろし || 龍谷大学文学部助教授(専攻哲学・倫理学)

エネルギー消費という一つの面だけに限定しても、私たちは世代間倫理によって、通常燃料の使用を三分の一に減らし、かつ原子力をいっさい用いない生活を要求されていることがわかりました。しかし、私たち「先進」国の人間にとって、考慮しなければならないのは世代間倫理だけではありません。消費生活のあらゆる面で、「先進」国とそれ以外の国々との間には著しい格差と不正があり、その是正も緊急の課題だからです。今回はこの問題を取り上げましょう。

《会費について変更のお知らせ》

皆様から頂戴しております、会費につきまして変更をしたいと思っておりますので、お知らせします。

- 会費＝一口3000円(一口＝1冊、2口＝10冊、3口＝50冊、4口＝100冊、5口＝150冊)
- 有効期限＝原則的に4月～翌年3月
- 入会受付＝新規、更新とも3月1日を締め切りとします
- 入金方法＝変更ありません。銀行振り込み、現金受領、現金書留をご利用ください。
- ご注意＝今回は申込期限が過ぎておりますので、5月末日を締め切りとさせていただきます。本誌に入会チラシ、または会員更新願いが同封されている方につきましては、お手数ですが、ご入会通知書を返送してください。また、会員申込をいただいている方につきましても、口数確認のため、今一度ご記入くださいますようお願い申し上げます。誠に勝手なお願いで恐縮ですが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

《次号予告》

2005年6月末発行予定

- 特集：エコ村特集
- 連載：循環共生社会システム研究所 代表 内藤 正明氏
- 連載：作家 今関 信子さん
- 連載：龍谷大学 助教授 本田 裕志氏
- 連載：循環型社会システム 代表 森 建司 氏
- 連載：井上 昌幸 氏
- 挿絵：佐々木 洋一氏
- 漫画：しみず やすお氏
- 写真：辻村 耕司氏

「編集後記」

■皆様のご支援により「M・O・H通信」も二年生になりました。よりよき未来社会に少しでも貢献できるよう、一層頑張ります。建

●今号は2年目突入！記念増大号になりました。表紙や仕様を変更してお届けです。いかがでしょうか？★ケニアのマータイ大臣のMOTTAI NAI NAI効果はスゴイ！滋賀経済同友会でも話題にしていたように、森代表が喜んでました。「対談できれば、OKAGAESAMAを伝えられるのに」と夢は膨らむ今日このごろ。夢は実現させるものですね………

「循環型社会を目指す～M・O・Hの会～」の発足に当たって

代表 森 建司

20世紀型社会は経済至上主義の時代であった。科学技術の進歩とそれに伴う工業や流通の発展は、世界的なスケールで人々に物による恩恵をもたらしたが、同時にバランスのとれた自然との共生社会を破壊した。経済至上主義とは物の豊かさを最高の幸せとして捉え、その対極にあるものの価値をほとんど消し去ろうとするものである。人々の価値観を情報操作で画一化して、特定のものに集中させようとするマーケット戦略は個人の人生観、社会観にまで侵入し、その独自性、不可侵性まで奪って行った。このことによって人々は哲学的な意味の自己をなくしてしまった。

今こそ新しい時代として循環型社会を作ろうとしているわれわれは、自己を証明する、ところとか思いを取り戻さなければならない。死生観とか人生観、先祖とか子孫、生涯をかける志、自己を自己らしく生き抜くための人生哲学など。そしてそれは自然との共生社会を目指すものであり、人としての真の生き様を問うものであらねばならない。

この実現のために

「循環型社会を目指す～M・O・Hの会～」を設立する。

《M・O・Hの会》入会受付中！

あなたも「M・O・Hの会」に入会なさいませんか。会員特典として、M・O・H通信、会員交流会、講演会のご案内をいたします。ご近所お誘い合わせの上、ご入会ください。活動やこの通信についての、ご意見もお聞かせください。加入口数によってお届け冊数が変わります。

あなたのお名前、年齢、郵便番号、住所、電話番号、fax(あれば)、e-mailアドレス(あれば)、あなたの心に残った一言をご記入の上、お申し込みください。通信をお送りします。申込書をfax、郵送、mailでお送りください。

キリトリ線

《M・O・Hの会》入会申込書

フリガナ			年齢	
お名前				
住 所	〒			
電 話		FAX		
メールアドレス				
希望口数 (○をして下さい)	1口=3,000円(1冊)、2口=6,000円(10冊)、3口=9,000円(50冊)、4口=12,000円(100冊)、5口=15,000円(150冊)、			
あなたの心に残った一言を書いてください。				

※記入いただいた内容については、目的以外のことに使用または転用はいたしません。

M・O・H通信 Vol.6(通巻7号)

2005年4月30日発行

●編集・発行/循環型社会システム研究所 M・O・Hの会

M・O・Hの会事務局

循環型社会システム研究所(新江州(株)内)

代 表 森 建司  
 編集・取材 辻村 琴美 デザイン 伊達デザイン室  
 編集協力 稲垣 重雄 写 真 辻村写真事務所  
 村山 明子 印 刷 (株)ワキプリントピア

〒526-0111 滋賀県東浅井郡びわ町川道759-3  
 TEL.0749-72-5277 FAX.0749-72-8681  
 email: tsujimura@shingoshu.co.jp

[入会費振込先]

M・O・Hの会 代表 森 建司  
 ●滋賀銀行 長浜支店 普通 136987(モウノカイ タイヒョウ モリケンジ)  
 ●長浜信用金庫 本店 普通 0577468(モウノカイ タイヒョウ モリケンジ)  
 ●びわこ銀行 長浜支店 普通 721691(モウノカイ タイヒョウ モリケンジ)